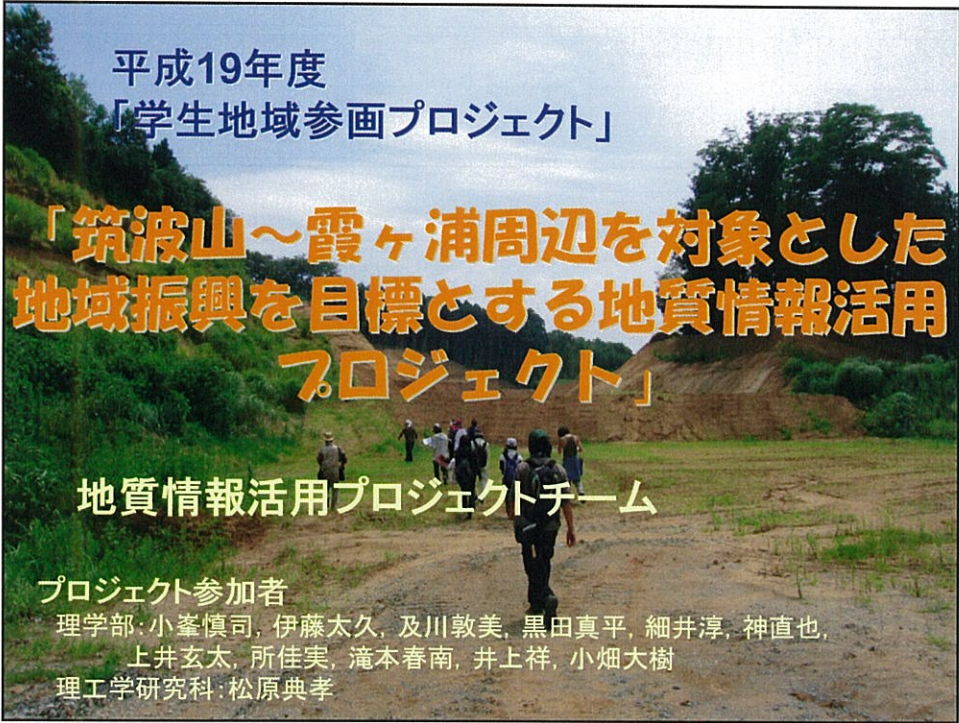




平成19年度
「学生地域参画プロジェクト」

「筑波山～霞ヶ浦周辺を対象とした 地域振興を目標とする地質情報活用 プロジェクト」

地質情報活用プロジェクトチーム

プロジェクト参加者

理学部: 小峯慎司, 伊藤太久, 及川敦美, 黒田真平, 細井淳, 神直也,
上井玄太, 所佳実, 滝本春南, 井上祥, 小畑大樹
理工学研究科: 松原典孝

1. 茨城大学

学生地域参画プロジェクトの趣旨

茨城大学社会連携事業会の支援のもとに行われる茨城大学地域連携推進本部のプロジェクト。学生の提案によって実施し、**学生が積極的に地域社会と連携し、地域の活性化を目指すと同時に学生の教育も目的とする。**

- ・毎年10件程度
- ・地域活性化の為に様々な活動を行う

2. プロジェクト戦略



①対象者

10代～60代の一般の方

②目的

・従来、観光に利用されてこなかった地質情報を観光情報化することで地質学を生かした地域の活性化支援を行う。

・地質情報を介して茨城の成り立ちを知ってもらい、地域住民の教養教育や防災意識向上に役立ててもらう。

・地質情報の重要性和有用性を一般に認識してもらう。

3. 実施されたプロジェクト手順と成果



①文献調査, 現地調査を実施, 地質情報を収集



③パンフレット、ポスターについて、地域の企業等にプロジェクトに対する協力・賛同を求め配布と掲示をお願いした。



連携企業・団体各所や教育関係者の反応

・連携企業・団体各所や教育関係者等から**強い支持と評価**を得ることに成功！今後の展開に期待！

例えば・・・

- ・今までにない**新しい観光の形**として観光客に喜んでいただけるのではないか（ホテル関係者）
- ・**地学の教育普及活動**として有効であり是非協力したい。**将来的にジオツーリズムやジオパーク設立の礎**になるものと期待できる（博物館関係者）
- ・**生徒の地学教育のみならず、現場離れの著しい地学担当教員の教育にも役立つ**のではないか（教育関係者）等々。

4. 今後の展望

地質観光情報の開拓



観光客誘致による地域活性化.

そして...

茨城県におけるジオパーク設立の礎！

THE KENSETSU TSUSHIN SHIMBUN

建設通信新聞

Architectures, Constructions & Engineerings.

2008年(平成20年)5月2日(金曜日)

(第三種郵便物認可)

一般の人対象に「奨励賞」

全地連 地質への関心高める

身内だけでなく、外部 5月に「日本の地質百選」の人や団体を積極的に表を発表するなど、一般の表彰すること、地質への人が地質に興味を持った関心を高めてもらうための活動を実施している。全地連調査協会。表彰制度はこうした連合会(瀬古一郎会長)取り組みの一環で、地質は、一般の人を対象としたPR効果のほか、地質た表彰制度「全地連奨励 関連学部の学生を側面から支援や公益法人改革で2008」を創設した。公益性確保などの狙いも表彰第1号として、「茨城大学」がある。

城大学 学生地域参画プロジェクト 地質情報活用プロジェクトを、29日の活動は推薦時点から1年以内としている。表彰全地連は、2007年は年1回ではなく、申請

第1号「茨城大学」29日表彰

があれば直近の理事会が常任理事会で審査して決める、受賞者に通知するとともにホームページに掲載する。

受賞第1号は、茨城大理学部が中心となり、霞ヶ浦の地質観光マップを作成、関東鉄道の車内で配布して広くPRしたことが評価された。

学生は、履歴書に受賞を明記することができるところから、就職活動などに役立つ効果が期待されている。

一般対象に「奨励賞」創設

全地連

全国地質調査業協会連
合会(全地連) 瀬古一郎

会長)は、地質に関連した活動に顕著な功績があった学生、個人、団体など一般市民を対象とする

表彰制度「全地連奨励賞—Geo-Award 2008—」を2008年度に創設する。自薦、他薦は問わず、地質に関連した活動に顕著な功績があった学生、個人、団体などを表彰の対象とする。応募は09年2月末日まで随時受け付け、年度内に6回開く予定の理事

経過措置後初となるC PD実績に基づくJAB MEE SENIORの認定は、08年9月末に受け付けを締め切り、12月に認定する予定だ。

会と常任理事会で決定。受賞者には賞状と記念品を贈る。

全地連は07年度にNPO地質情報整備・活用機構」と共同で「日本の地質百選選定委員会」を設

置。地質学的に貴重な自然資源100カ所を選定するなど、一般市民に地質を身近に感じてもらえる取り組みを進めている。一方、学術的に貴重な

地質遺産を保全・継承しながら、観光や地域振興にも役立てる「ジオパーク」活動が国内でも地方自治体を中心に広がりをみせ始めている。

全地連は、一般を対象にした表彰制度を創設することで、民間団体や地方自治体の地質への関心をさらに高め、地質関連学部などで勉強している学生をバックアップしたい考え。